

街中でビルを見上げれば目に付く英会話スクールの看板。いまだに英語ビジネスで最大規模を維持しているが、オンライン英会話の勃興により淘汰の時代に入っている。

数社で覇権争い

三井物産が23%出資! 大手オンライン英会話一覧

	Bizmates	BT	RareJob	QQEnglish	産経 Online英会話	DMM 英会話	Native Camp	
	ビズメイツ	ベスト ティーチャー	レアジョブ	QQ イングリッシュ	産経オンライン 英会話	DMM 英会話	Native Camp	
特徴	単なる英会話スキルではなく、ビジネスで成功するための英語力を鍛えることが目的。料金は高いが、創業者が元ベルリッツの社員とあって教材・講師のレベルが高く、個人・法人とも契約者を急激に伸ばしている	講師と実際に会話を前に、文字ベースで講師と疑似会話を行い、文書を作成。ただ、話すだけでなく、会話で学んだ内容のログデータを残すのが特徴で、構文などが詰まった自分流の教科書が作成できる	オンライン英会話業界最大手で、初心者向けの日常会話からTOEIC対策、ビジネス英会話まで幅広いサービスが特徴。会話力を測れるスピーキングテストも提供し、昨年からは法人向けサービスにも注力している	英会話時に脳内で日本語を介さないカラメソッドの学習法を採用。TOEIC対策、ビジネス英会話といった目的別のコースを選択できる。企業だけでなく、学校法人への導入実績が多いのも特徴	産経デジタル、ヒューマンホールディングス、トランスコスモスの3社による共同事業。法人日常英会話やビジネス英会話のほか、小売店やレストラン、鉄道、タクシー、郵便局といった職業別英会話も学べる	フィリピンだけでなく、東欧など世界60カ国から講師を厳選。他サービスに比べ授業料が格安だが、ネイティブ講師との会話には別途料金が必要。ブランドイメージから法人向けはやや弱い	格安で無制限に話せるのが最大の特長で、2015年7月のサービス開始以降、順調に会員数を伸ばしている。予約なしで利用できるため、隙間時間で英会話を学べる。講師が自宅からではなくフィリピン・セブ島のオフィスから英会話のレッスンをしているのも特徴	
月額料金	12,000円 (1日25分コース)	9,800円 (回数無制限)	6,264円 (1日25分コース)	6,242円 (1日25分コース)	5,980円 (1日25分コース)	4,950円 (1日25分コース)	4,950円 (回数無制限)	
講師数	700人	500人以上	約4,000人	約700人	非公表	約5,000人	770人	
主な導入法人	三菱UFJ 信託銀行 野村総合研究所 SMBC 日興証券 東京海上日動 火災保険 東芝ITサービス 日本光電 など	日本 テレガートナー ウィルグループ イー・ガーディアン インフォテリア など	三井物産 KDDI ヤフー LINE 関西電力 大阪ガス サイバー エージェント など	HDE 明治大学 関西大学 神戸大学 茨城高校 立命館中学 など	PRE-TECH など	ファーウェイ ジャパン アデコ 日通総合 研究所 ハートンホテル 法政大学 など	法人向け サービスなし	

*価格は全て税込み。取材を基に本誌編集部作成

ールからの個人利用客の流入で成長著しい。市場規模は100億円以下にとどまるが、手軽なオンラインサービスだからといって侮るなれ。ビジネス特化コースやカウンセリングなどのサービスが充実し、日々進化を遂げている。

例えばビジネス特化型オンライン英会話のビズメイツ。フィリピン人の講師陣は総じてビジネス経験が豊かで、「ビジネス経験のない英会話スクールの講師よりも、英語のレベルは高い」(前出の業界関係者)。講師の大半は日本語を話せないため英語初級者にはハイレベルだが、商談やプレゼンテーションなど、生きたビジネス英語に触れたい人にはお薦めだ。

最近、福利厚生の一環として、オンライン英会話メニューを導入する企業も増えている。かつては講師がノンネイティブで効果は未知数であるとして、法人契約は伸び悩んでいたが、昨年7月に三井物産がレアジョブに資本参加したことによりイメージが激変。「そのニュース以降、福利厚生の問い合わせが急増した」(小野慎介・レアジョブ法人営業部長)。

価格破壊者たるオンライン英会話の勢いは増している。特化した強みがない旧来型の英会話スクールが淘汰されることは間違いない。

生き残るのはどのスクール?

既存vsオンラインに義なき戦い

法人シフトが進む

大手英会話スクール一覧

	Berlitz	ECC外語学院	AEON 英会話イオン	eaba	COCO塾	NOVA	シェーン 英会話
	ベルリッツ	ECC 外語学院	AEON イオン	GABA	COCO塾	NOVA	シェーン 英会話
特徴	英会話スキルだけでなく、ビジネスで成功するための交渉力や会議での議論の組み立て方まで指導。日常会話重視の英会話初級者よりは、英語会議が増えてきた中級者や海外赴任を控えた上級者向けのプログラムが多い	英語を母国語としない人が最も効率よく勉強できる方法を追求。グループレッスンが大半で中学生や高校生コースもあるため、やや学生が多め。講師は日本人と外国人の両方が在籍し、個人の習熟度に合わせた選択ができる	女性芸能人のCMで知名度がさらにアップ。初級・中級者層に強く、比較的日常生活を学ぶ生徒が多い。近年は、訪日外国人の増加で小売店などからの研修依頼も多く、「おもてなし」精神を理解した日本人講師が中心に講義を行う	完全マンツーマン指導でビジネスマンが大半。商談やプレゼンなど、シーンに合わせた授業を行うカスタマイズレッスンに強み。法人契約では企業内に教室を設置するスクール設置プランもある	英語力を六つのスキルに分けて診断する独自テストを実施。その結果を基に個人に最適な勉強法をカスタマイズする。学習を「続ける」ことに重きを置いている。総合英語コース、ビジネス英会話コースのほか、医療英語などユニークなコースも	「駅前留学」のフレーズでおなじみで、2007年に現在のジー・エデュケーション(現NOVAホールディングス)に事業譲渡された。国内最多の教室数を誇る業界最大手で、近年は官公庁の研修入札にも積極的に参加している	英国式の英会話スクールで、講師はほとんどが英語圏出身のネイティブ。会話だけでなく、ネイティブ講師を通して英語圏の思考法やコミュニケーションの姿勢についても学べる。スクールは首都圏中心
月額料金	少人数レッスン 28,800円*1 (年96回×40分)	グループレッスン 20,900円*1 (年40回×80分)	グループレッスン 10,692円*1 (年45回×50分)	個人レッスン 53,865円*1 (年90回×40分)	少人数レッスン 16,940円*1 (年42回×50分)	少人数レッスン 10,000円 (月4回×40分)	個人レッスン 29,700円*1 (年48回×40分)
教室数	64教室	188教室	194教室	44教室	80教室	268教室	211教室
主な導入法人	トヨタ自動車 楽天 フィリップ・モリスジャパン アシックス ALSOK カブコン など	KDDI ニプロ など	アクセンチュア クラレ NECグループ 花王 NTTDコム キャノン など	LINE アビーム コンサルティング アム・エイ・ジェイ 武蔵大学 など	アステラスグループ SMBC 日興証券 西部ガス 全日本空輸(ANA) 富士通グループ 野村証券 など	非公表	ADEKA 住友建機 日立国際電気 など

*価格は全て税込み。取材を基に本誌編集部作成 ※1 レッスン回数を有効期間の12カ月で割った際の月額料金

英 語学習者であれば誰もが一度は入会を検討する英会話スクール。成人向けスクールの市場規模は約2000億円と英語ビジネスの中で最大だ。近年、英会話スクール内で増加傾向にあるのが、研修や幹部候補生集中レッスンなどの法人契約だ。圧倒的なレッスン料の安さを売りにオンライン英会話個人市場を侵食し始めており、スクール側は法人により力を入れている。

特にここ2〜3年は訪日外国人の増加により、小売店や飲食店からの研修依頼が殺到。かつてのTOEIC点数アップの依頼から、使える英語を重視に変化してきている(佐川功一・GABA法人営業部門執行役員)。

教材も各企業のニーズをくんでカスタマイズするのが主流になりつつあり、「服の販売」「メールだけ」「電話応対だけ」など、必要なシーンに特化した研修が多い。

いまだに、「社員のTOEIC点数の底上げをしたい」という依頼も少なくないようだが、そうしたケースは「人事部が英語研修の目的を見失っているケースが多い」(業界関係者)と、スクールの側にも注意が必要だ。

一方、オンライン英会話はスク